

## 3階ユニット

看護師長 田子亜希子

### 1 部門目標

子どもと家族のニーズを捉え、安全で安心な看護を提供する

### 2 業務体制・スタッフ

小児科外来と小児科病棟（HCU4床を含む42床）の一元化ユニット

受け持ち制、固定チームナーシング、7対1看護体制

小児入院医療管理料1を取得 看護師28.8名、看護補助者2名、保育士3名

### 3 業務実績

令和元年度の1日平均患者数21.9人（前年度-8.7人）、病床稼働率52.1%（前年度-21.0%）、平均在院日数4.2日（前年度+0.4日） 死亡件数1人

### 4 1年間の総括

社会の変化(ニーズ)を捉え、市民病院としての役割・課題を認識し看護実践能力を高める取り組みとして、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ整備をおこなった。これまで、20余名の患児を受け入れ、延べ400回以上のリリーフ要請に対応した。クラスターが発生することはなく、全てのスタッフが役割を果たし、貢献できたと考える。

また、医療ケアを必要とする家族のニーズに応えるために、多職種と共働して退院支援を行ってきた。さらには、重篤な疾患をもつ子どもと家族の意思決定支援において、倫理的な問題に気付き、多職種とカンファレンスを重ね、家族の意思決定支援をおこなった。今後もこのような対象者は増えることが予測されている。多職種と連携し、必要なリソースの支援を受けながらスタッフの倫理的感性を高め、支援できるよう取り組みを継続していきたいと考えている。

### 5 今後の目標

患者、家族のニーズを捉え、意思決定支援をおこなうために、多職種と共働し、チーム医療を強化していく。また、新型感染症や、災害など予測不能な状況においても市民病院としての役割を果たせるように柔軟な思考や行動がとれるように支援していく。